

ペルー一国地域精神衛生向上プロジェクト  
アフターケア調査団報告書

平成2年11月

国際協力事業団  
医療協力部

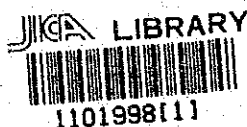
医 協

J R

90 - 59



ペルー国地域精神衛生向上プロジェクト  
アフターケア調査団報告書



平成 2 年 11 月

国際協力事業団  
医療協力部



## 序 文

ペルー国では、首都リマ市への人口集中に伴う生活環境の悪化が原因で低所得者層の精神的障害の発生が急増していることから、精神障害者対策は同国の厚生行政面で緊急課題であると位置付け、我が国に対し、地域精神衛生センター設立に係る無償資金協力及びプロジェクト方式技術協力を要請越した。

これを受けて、我が国は、昭和55(1980)年5月20日、「地域精神衛生向上プロジェクト」に関する討議議事録(R/D)を署名・交換し、以後延長協力を含め7年間にわたる技術協力を行ない、昭和62年5月19日に本プロジェクトは終了した。

この間、延べ18名の専門家派遣、17名の研修員受入れ、総額約2億4百万円の機材供与を実施した。

今回のアフターケア調査団は、プロジェクト終了後3年半を経過していることも考慮し、協力終了後のペルー側の活動状況、及び既供与機材の利用・管理状況を確認、評価するとともに、プロジェクトの再活性化を図るべく専門家派遣と機材供与からなるアフターケア協力計画を策定するために派遣したものであり、本報告書はその調査・協議結果を取り纏めたものである。

ここに、本件調査にあたり、ご協力賜った関係各位に対し、深甚なる謝意を表する次第である。

平成2年11月

国際協力事業団

医療協力部長

曾 我 紘 一





部門別活動報告会議



既供与機材の利用・管理状況を調査する団員



臨床活動部門スタッフからの活動報告を受ける団員







アフターケア協力ミニッツ署名式 (中央 Dr. Jorge Castro所長)



ミニッツ署名 (Dr. Jorge Castro所長)



ミニッツ署名 (林団長)



# 目 次

1. アフターケア調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査内容	2
1-3 調査団の構成	3
1-4 調査団の日程表	3
1-5 主要面談者	5
2. 要 約	7
2-1 国立精神衛生研究所（INSM）の現状	7
2-2 既供与機材の利用・管理状況	8
2-3 アフターケア協力の内容	8
3. 調査・協議結果	10
3-1 部門別活動状況	10
3-1-1 臨床活動	10
3-1-2 研究活動	12
3-1-3 教育活動	12
3-1-4 地域精神保健活動	12
3-1-5 医療情報システム	13
3-2 既供与機材の利用・管理状況	16
4. アフターケア協力の実施上の留意点	17
5. アフターケア協力効果の予測	18
附属資料	
① アフターケア調査団協議議事録（ミニッツ）	21
② “オノリオ・デルガードー野口英世” 国立精神衛生研究所の組織図	29
③ 研究部の Work Plan（1982～1990）と実績	33
④ 研究部の事業実績（1982～1987）	73
⑤ 地域精神保健部の活動実績（1987～1990）	97

⑥	リハビリテーション部治療指針と組織作り計画	.....	117
⑦	アフターケア調査団の派遣を紹介する現地新聞 “El Comercio” 1990. 11. 20付	.....	155

## 1. アフターケア調査団の派遣

### 1-1 調査団派遣の経緯と目的

ペルー国では近年首都リマ市への人口集中が著しく、生活環境の悪化による低所得者層の精神的障害の発生率が急増しているところ、精神障害者対策は同国の厚生行政面において緊急課題であると位置付け、我が国に対し地域精神衛生センター設立に係る無償資金協力及びプロジェクト方式技術協力を要請越した。

かかる要請を受けて、国際協力事業団は、本件協力の必要性和妥当性の調査を目的に、昭和55年7月に事前調査団を派遣し、その結果、地域精神衛生センターの設立はペルー国全体の精神衛生計画の先鞭をつけ、モデルセンターとしての役割を果たすことで同国の精神医療を飛躍的に推進させることとなり、また、本計画は地域精神医療のみならず、一連の全般的保健医療計画の原則と一致し、地域医療全体をも推進させることにもなり、これはまた同国政府最大の施策としている国家計画の一翼を担うものであり、更には、本件協力の実施は、日本とペルー両国の友好親善に大いに資するとの結論を得た。

前記調査の結果を踏まえ、無償資金協力によって建設・整備計画にある地域精神衛生センターを拠点に技術協力プロジェクトを発足させるため、昭和55年5月10日から同年5月23日まで前国立精神衛生研究所長の加藤正明氏を団長とする実施協議調査団を派遣し、右調査団とペルー政府機関代表者との間で同年5月20日に署名・交換された討議議事録(R/D)及び暫定実施計画(TSI)に基づき、地域精神衛生活動の向上に係る5ヶ年間の技術協力が実施される運びとなった。

昭和56年1月に地域精神衛生センターを“オノリオ・デルガードー野口英世”国立精神衛生研究所と改称し、翌年(昭和57年)3月に無償資金協力による第一期工事が完了し、研究所開所式が同年6月11日に行なわれ精神衛生分野での診療(外来)活動が開始された。

さらに、入院病棟を含む第二期工事が昭和58年2月に完了し、昭和59年3月より入院サービスが開設された。

本件協力事業は、当初、昭和55年5月20日から5ヶ年間にわたり、無償資金協力によって建設・設備された“オノリオ・デルガードー野口英世”国立精神衛生研究所(厚生省精神衛生局管轄)を先方実施機関とし、精神障害の発生予防、早期発見、的確な治療及び社会復帰リハビリテーションを推進する方針に沿って地域精神活動と精神科臨床及びそれ等の諸活動を通じた高度な研究を目的に、1)リマ市北部地区の精神疾患の疫学調査、2)早期診断・治療、精神衛生問題の特殊なトピックスに関する研究等における発展と技術促進、3)プロジェクトに参画している精神科医及び他の精神衛生従事者への技術指導と助言をプロジェクト主要活動として実施した。

なお、具体的な我が方協力内容は、1)本研究所において保健医療業務に従事する医師、看護婦、

作業療法士、検査技師、臨床心理学者、保健婦等スタッフの教育・訓練、2)上記医療技術者と共同して、この地域の精神衛生活動、精神科医療全般の組織化と発展を図るための適切な指導・助言、3)上記に伴う必然的な臨床上の研究と基礎的な研究（精神障害及び社会的適応障害の発症予防、早期発見と再発予防並びにリハビリテーションに関する診断・治療技術の向上を目指し）の指導・助言であった。

昭和60年1月の評価調査の結果、十分な投入実績と熱心な技術協力活動の結果、本件協力事業は目ざましい成果を挙げつつあるものの、診療・研究等の分野においては一部技術移転の完了に至っていないことから、協力期間を2年間延長することとなり、昭和62年5月19日に所期の協力目標を達成し終了した。

今般、協力終了後2年余りを経過しているところ、前記した技術協力期間に先方カウンターパートに移転された精神障害早期診断・治療技術等の定着と発展を図るため、国立精神衛生研究所の活動・機能の現況分析に基づき、補完的技術協力の立案、即ち、アフターケア協力計画を策定すべく、先の7年間にわたるプロジェクト方式技術協力の際、専門家派遣、カウンターパート研修員受入れ等に尽力して頂いた経緯のある慶応大学医学部の協力を得て、アフターケア調査団を派遣することとなった。

アフターケア調査団派遣の目的は以下の通りである。

- 1) 協力分野別（①医療情報システム、②臨床活動—外来診療及び入院治療活動、③教育、④生物精神医学、⑤研究活動、⑥疫学活動、⑦地域精神衛生活動等）のペルー側スタッフの活動状況を詳細に調査、確認し、よって、過去7年間の日本側技術協力の効果を測定するとともに、先方との協議を通じ、今後のアフターケア協力の対象分野の絞り込みを行なう。
- 2) 先の無償資金協力及びプロジェクト方式技術協力によって、先方に供与された機材の利用・管理状況を調査し、スペアパーツ、消耗品等の補給の必要性と新規機材供与の必要性を検討するとともに、同研究所の機能を十分に発揮できるよう既供与機材の有効な活用を先方に促す。
- 3) 帰国研修員の活動状況を調査し、カウンターパートの定着度を判定するとともに定着に対する阻害因子についても摘出し、排除のための検討を行なう。
- 4) 先方実施体制（施設、人材及び研究所運営管理に係る予算措置等）の整備状況を調査し、今後の同研究所運営の在り方についても助言・指導する。
- 5) 以上の調査結果に基づき、アフターケア協力計画（短期専門家派遣及び機材供与）を策定する。

## 1-2 調査内容

### 1) プロジェクトの現況調査

- ① 相手国側（国立精神衛生研究所）の事業概要と将来的な事業計画の把握（実施運営体制等を含めて）

- ② 国立精神衛生研究所の部門別診療活動、研究、教育及び地域精神衛生活動の現況調査
- ③ 既供与機材（無償資金協力及びプロジェクト方式技術協力を通じて供与された主要機材）の利用・管理状況調査
  - ア. 既供与機材の利用・管理状況
  - イ. 先方の既供与機材の保守・維持管理能力についての調査
  - ウ. ペルー側の資機材自己調達体制の調査
- ④ 相手国側の研究所運営管理状況の調査

2) アフターケア協力計画の策定

- ① 短期専門家派遣
  - ア. 指導分野、イ. 派遣期間、ウ. 派遣目的
- ② 機材供与
  - ア. アフターケア供与機材リストの作成

1-3 調査団の構成

	氏名	担当業務	所属先
団長	林 峻一郎	総 括	北里大学 衛生学部精神衛生学研究室 教授
団員	仲 村 禎 夫	生物精神医学	慶応義塾大学 医学部精神神経科 講師
”	佐 藤 忠 彦	社会精神医学	桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院 副院長
”	金 子 健 二	技 術 協 力	国際協力事業団 医療協力部医療協力課 職員

1-4 調査団の日程表

日順	月 日	曜日	調 査 行 程
1	11月19日	月	成田発 (18:00) R G 833 リマ着 (23:00)
2	20日	火	09:45 JICAペルー事務所表敬 調査日程、内容、対処方針等について打合せ（溝渕所長、菅所員） 11:30 在ペルー日本大使館表敬（溝渕所長、菅所員同伴） 妹尾正毅大使表敬 鬼沢浩志一等書記官（経済協力担当）と本件アフターケア協力に係る打合せ 15:00 “オノリオ・デルガードー野口英世” 国立精神衛生研究所 (Instituto Nacional de Salud Mental ; INSM) 表敬 同研究所長 (Dr. Jorge Castro Morales) と調査日程、内容等について打合せ（溝渕所長同席）
3	21日	水	09:00 第一回全体会議（於：INSM） 林団長よりアフターケア調査団派遣の経緯、目的について説明 同研究所長よりプロジェクト終了から今日に至るまでの時

日順	月 日	曜日	調 査 行 程
			系列的研究所活動実績報告(問題的摘出も含め)と Plan de Emergencia について説明
			10:00 部門別活動報告
			10:00 研究部門 (Dpto. de Investigación)
			11:00 薬物依存対策部門 (Dpto. de Farmacodependencia)
			12:00 小児・思春期部門 (Dpto. de Niños y Adolescentes)
			13:00 地域精神衛生部門 (Dpto. de Salud Mental Comunitaria)
			19:30 妹尾大使主催懇親会(於:大使公邸)
4	11月22日	木	09:00 部門別活動報告 09:00 成人・老人神経科 (Dpto. de Adultos y Geriatria) 10:00 教育部門 (Dpto. de Docencia) 11:00 生物精神医学部門 (Dpto. de Psiquiatria Biológica) 12:00 リハビリテーション課 (Servicio Rehabilitación) 13:00 第二回全体会議 アフターケア協力のスキームについて詳細説明 14:00 既供与機材(検査機器及び視聴覚機器)の利用・管理状況について調査 16:00 栄養学研究所(Instituto de Investigacion Nutricional) 訪問 Mr. Joaquin M. Novara氏 (INSM前コンピュータ課長) と面談
5	23日	金	09:00 研究所施設視察併せて既供与機材の利用・管理状況について調査 ・外来 ・入院病棟(成人、小児-ディケア) ・検査部 ・コンピュータ室 ・オーデトリウム ・メンテナンス関係施設 12:00 第三回全体会議(於:INSM) アフターケア協力計画の策定(短期専門家派遣及び機材供与計画) 19:00 団内打合せ
6	24日	土	09:30 アフターケア協力供与機材の詳細仕様、使用目的等に関し、研究所長(Dr. Jorge Castro Morales)と打合せ (於:INSM) 13:00 ミニッツ作成
7	25日	日	資料整理
8	26日	月	10:00 ミニッツ締結(国立精神衛生研究所長、企画庁技術協力局二国間協力課長及び林団長により署名交換) 11:00 佐藤忠彦団員に対し国立精神衛生研究所名誉医員の称号授与 13:00 Dra. Ana Kanashiro de Escalante 国会議員(保健、社会保険、人口・家族委員長)表敬(溝淵所長、鬼沢書記官、菅所員同伴、於:国会)
9	27日	火	09:00 サン・マルティン・デ・ポーレス区保健所 "Centro de Salud TAWANTINSUYO BAJO" 視察 11:00 在ペルー日本大使館(妹尾大使)へ帰国報告 16:00 JICAペルー事務所へ帰国報告(寺沢職員、菅所員)
10	28日	水	02:45 リマ発RG844 ロサンゼルス着(08:10) 12:00 ロサンゼルス発US144 サンフランシスコ着(13:13)
11	29日	木	12:00 サンフランシスコ発JL001
12	30日	金	成田着(15:55)



1-5 主要面談者

(ペルー側)

厚生省 (Ministerio de Salud)

厚生大臣 (Ministro de Salud)

Dr. Carlos Vidal Layseca

大臣顧問 (Asesor del Ministro de Salud)

Dr. Enrique Fernández

国会 (Camara de Senador)

保健、社会保険、人口・家族委員会委員長

(Presidenta de la Comisión de Salud, Seguridad

Social, Población y Familia)

Dra. Ana Kanashiro de Escalante

カエタノ・エレディア大学 (Universidad Peruana Cayetano Heredia)

学 長 (Rector)

Dr. Roger Guerra-Garcia C.

“オノリオ・デルガードー野口英世” 国立精神衛生研究所 (Instituto Nacional de Salud Mental “Honorio Delgado-Hideyo Noguchi”

元所長 (Ex-Director Ejecutivo)

Dr. Javier Mariategui

所 長 (Director Ejecutivo)

Dr. Jorge Castro Morales

事務長 (Director Administrativo)

Sr. Mauricio Renjifo

研究部長 (Jefe Dpto. de Investigación)

Dr. Alberto Perales

教育部長 (Jefe Dpto. de Docencia)

Dr. Hugo Chávez Ortiz

薬物依存対策部長 (Jefe Dpto. de Farmacodependencia)

Dr. Martín Nizama

成人・老人精神医学部長 (Jefe Dpto. de Adultos y Geriatria)

Dr. Dante Warthon

小児・思春期部長代理 (Jefatura Dpto. de Niño y Adolescentes)

Dr. José Valverde

生物精神医学部長代理 (Jefatura Dpto. Psiquiatria Biológica)

Dr. Manuel Escalante

心理学部長代理 (Jefatura Psicología)

Sra. Nelly Saavedra

地域精神衛生部長 (Jefe Dpto. de Salud Mental Comunitaria)

Dr. César Arellano

医局長兼救急室長 (Presidente del Cuerpo Medico INSM y Jefe Serv. Emergencia)

Dr. Noe Yactaya

リハビリ室長 (Jefe Serv. Rehabilitación)

Dr. Julio Huamán

臨床検査室長 (Jefe de Laboratorio Clínico)

Dr. Alejandro Miyahira

看護課長 (Jefe Unidad de Enfermería)

Sra. Lucy Becerra

秘書室長 (Jefe de Secretaría)

Srta. María Teresa Andrade

所長室調整員 (Coordinadora de la Dirección)

Sra. Mriela Vergara

広報室長 (Jefe de Relaciones Pública)

Sra. Dalila Arana

INSM労働組合書記長 (Secretario General del Sindicato de Trabajadores)

Sr. Héctor Marquez

(日 本 側)

ペルー日本国大使館 (Embajada del Japón en Lima)

特命全權大使	妹 尾 正 毅
公使・総領事	埜 哲 夫
参事官・医務官	佐 藤 泰 朗
一 等 書 記 官	鬼 沢 浩 志

J I C Aペルー事務所

所 長	溝 渕 高 生
副 参 事	寺 沢 英 治
所 員 (企画庁・派遣専門家)	菅 龍 比 古

## 2. 要 約

本調査団は、1990年11月19日（月）から11月28日（水）まで10日間、ペルー共和国首都リマに滞在し、相手国側実施機関である“オノリオ・デルガードー野口英世”国立精神衛生研究所（INSM）関係者と1章で記したアフターケア調査事項に関する調査及びアフターケア協力の内容につき協議を行なった。

その調査結果及び協議内容についての概要を以下に示す。

### 2-1 国立精神衛生研究所（INSM）の現状

各部局の日常の活動状況は、先の技術協力時と比較して、前政権期の低迷期を脱し、概ね同程度の水準に回復しつつあり、政治的、経済的困難にも拘らず幾つかの部局では一層の発展と組織的整備も認められた。

しかし、機材が比重を占めている活動分野は、供与機材の故障、修理の困難な状況（現地に代理店がない、研究所の財政的理由など）及び耐用年数の到達などにより若干の停滞が窺われ、アフターケア協力による再活性化が望まれる。

#### (1) 臨床活動

外来、入院部門は非常に活発に機能しており、地域割りを越えてリマ全市より多くの患者を集めている。

また、同研究所の運営管理予算面での制約から、向精神薬など高価な医薬品の調達は十分とは言えず、善意団体の寄付などに頼る面も大きい。

#### (2) 研修活動

Cayetano Heredia大学、San Marcos大学の卒前教育、レジデント教育を活発に行なっており、また、看護婦、ソーシャル・ワーカー等を対象とした全国水準での講習会を同研究所講堂を用いて随時実施している。

#### (3) 研究活動

臨床研究が中心となり、OPM、AID等の研究費援助を得て、「暴力行為」「薬物依存」などの調査研究が実施され、その成果が発表されている。

疫学調査も新たに企画されており、さらに、各部門での調査、統計など行なわれつつある。

#### (4) 広報活動

国立精神衛生研究所（INSM）紀要である *Anales de Salud Mental* が最近出版され、これで同誌の一応の継続性が保れている。

なお、本誌（一号当り）の出版と配布に係る経費は約US \$ 5,000.00を要するとのことである。

## (5) 職員の配置

総職員数は約600人にのぼり、我が国の基準から考えるならば、人数に比してその効果には議論の余地があろう。

ペルー国の特徴として、秘書等事務職員の数が非常に多く、人件費の圧迫に起因している。

以上、社会情勢が極端に悪いなかでの研究所活動を考慮すると、本来の目的である臨床、教育、研究の各事業部運営管理に対する先方の自助努力は十分に評価し得るものである。

## 2-2 既供与機材の利用・管理状況

同研究所に対し無償資金協力及びプロジェクト方式技術協力で供与された機材で古いもので既に約10年、新しいものでも約4年の年月を経ているため、故障し部品補充・修理されていないもの、消耗品、試薬入手が困難で稼動に制約のあるものや耐用年数に達しているものが少なくない。

特に、ビデオ機器や一部の生化学機器などは技術協力実施中より指摘されてきたもので、昭和61年に派遣された機材修理調査団の調査結果報告でも指摘されてきた。

既供与機材で現地に代理店がありアフターサービスを受けられるものは、ビデオ・視聴覚機器等僅かで、その他機材については、西語版操作マニュアル、サービスマニュアルの不備、消耗部品購入や保守契約締結に係る研究所側予算不足や医療機器保守技術者の技術力不足が原因で十分な機材保守・維持管理体制が整備されるに至っていない。

## 2-3 アフターケア協力の内容

以上の調査結果を基に、策定されたアフターケア協力の内容は以下の通りである。

いずれの項目も当事業団の予算状況等により変更の可能性のあることを「日」「秘」双方で確認している。

### (1) 専門家派遣

以下の3名の短期専門家を派遣する。

- ・ 地域精神衛生活動
- ・ 社会復帰活動（リハビリテーション）
- ・ 機材保守（生化学機器を中心に）

なお、地域精神衛生活動と社会復帰活動の2分野の専門家については、既に本プロジェクトに関係し、先方事情に詳しく、シニアな医師で、さらに、短期間の技術協力活動で十分な成果を上げるに必要な語学力を備えている者が選抜の基準となる。

### (2) 機材供与

「日」「秘」共同で「秘」側の要望の絞り込みを行ない、それを取り纏める形で機材部分、スペアパーツ部分からなる供与予定機材リストを作成した。

供与後の機材のメンテナンス、消耗品、スペアパーツの自己調達が現地代理店によるアフ

ターサービスを考慮し、視聴覚機器等については、積極的に現地調達を行なうことが望ましい。  
また、耐用年数に達している機材で臨床活動に不可欠なものについては、今次のアフターケア協力で新規に供与する方向で検討を行なった。

### 3. 調査・協議結果

#### 3-1 部門別活動状況

##### 3-1-1 臨床活動

###### ① 成人・老年部

同部は外来科、入院科（男子・女子）、救急科（24時間体制）、研究科、評価と診断科、老年精神医学の六部門に於いて活動してきている。

1990年1月から9月までの臨床活動の実績は表(1)の通りであり、精神発達遅滞と薬物依存を除いて、精神科領域の疾患はほぼ全て含まれている。新患は一日10～15人であるが、1983年から1987年にかけては少ない年でも27%、多い年で55%の受け付け患者の診療が不可能であった。現在、さらに外来患者数が増加傾向にあり診療圏外の患者も少なくなく、新患は明年2月まで待たなければならず、その為、先方側は医師、看護婦を増やす計画にある。併せて、診療施設の増設を希望している。

治療方法として、行動療法の開発に力を注いでいるが、日本から供与されたバイオフィードバック機器は、耐用年数に達し、その機能の低下が見られることから新規供与が望まれる。教育研修の面では、二つの大学医学部の卒前、一つの大学医学部の卒後教育を行っており、又、心理士、看護婦、ソーシャルワーカーの卒前、卒後の教育も行なっている。

研究にも力を注いでおり、WHOなどの国際機関との協力も行なわれている。

日本への機材供与要請として、酸素セット、ES機器、電話、視聴覚機器、タイプライターがあげられた。

###### ② 児童・思春期部

ペルーの人口の半数は18歳以下で占められており、精神科領域で児童・思春期の問題は重要な意義がある。研究所の患者も約50%は児童・思春期の患者で、多くは学習困難や情緒障害によって占められている。

部分入院いわゆるデイ・ケアを中心に治療を行なっているが、思春期精神障害に関しては成人病棟を利用して入院治療を行なっている。また、近隣の学校と協力活動を行なっているが、研究所外の地域活動は十分とは言えない。

INSM内に児童病棟を開棟したいと考えているが、地域に日本などの先進国と違い児童相談所などの施設はなく、都立梅ヶ丘病院或いは都立児童相談センターのような専門の施設や専門の入院施設もないので、児童相談センターのネットワークを作り、人材の養成を行ないたいという希望を持っており、児童、思春期の専門家の派遣を希望している。

###### ③ 薬物依存部

1990年1月から8月までの外来受診総数は再来を含め1,308件、新患は342人であった。コ

カイン依存者なども多い。入院を必要とするケースも少なくないが、予算がない為、外来部門のみにて対応している。これに対して個人精神療法、集団精神療法、作業療法、スポーツ療法、家庭訪問を行なう一方、家族会を育ててきた。

今後の活動の発展のために、家庭訪問用の自動車、血中濃度測定キット、パソコン、スライドプロジェクターなど供与希望あった。

#### ④ 臨床検査部・生物精神医学部

この二つの部はかつては一つの組織であったが、現在は組織的に分かれて活動している。臨床検査部はINSMの毎日の診療業務に対応している。生物精神医学部はリチウムの血中濃度測定などの特殊検査について、供与機材を用いて活動しており、隣接したカエタノ・エレディア大学とも協力が進められようとしている。

ここに供与された原子吸光/フレイム分光光度計(島津)、細管式等速電気泳動分析装置(島津)、高圧液体クロマトグラフィ(島津)、エミット薬剤血中濃度測定用機器(シバ)、自動分析装置(テクニコン)は供与当時から円滑な稼働のため双方の努力が続けられてきたが、現段階では、前二者を除いて他の検査機材、特にテクニコンの自動分析装置等は、十分にその機能が発揮されておらず、修復のための可急的速やかな対応が望まれる。また、正常稼働中の前二者もメンテナンス、消耗部品の補給などの課題を抱えており、保守・維持管理作業時に必要とされるサービスマニュアルが欠けているものもある。

今次のアフターケア協力においては、臨床検査部に供与された上記検査機材の補修に必要とされるスペアパーツを中心に供与し、短期専門家を派遣して、当該分野の機材が十分に稼働するよう対処することとする。

#### ⑤ リハビリテーション部

リハビリテーションプログラムをAdmision, Funcional, Socio-Laboral, Profesionalの各段階に整備したことにより、プログラムが一段と体系的、組織的となった。着実に発展した部の一つである。しかし、供与機材の内、陶芸用の電気釜、製靴用機材などは未設置状態にある。これは、同部の機材供与が技術協力の比較的後期に行なわれたことも影響している。今次のアフターケア協力実施に伴ないリハビリ専門家の派遣が要請された。

#### ⑥ 神経内科部

脳波計、誘発電位装置など臨床機器の供与の多い部門の一つであるが、診療上よく利用されていた。

### 3-1-2 研究部

1982年に研究プロジェクトの登録が始まってから、1987年までに登録されたプロジェクト数は58で、1990年までに登録されたプロジェクト数は68であり、その進捗状況はグラフ(2-a、b)の通りである。

最近3年の登録数の減少は、日本との技術協力協定の終了と政治的社会的混乱が影響したも

のであるが、進捗状況で見れば、既に出版されたものは33%にのぼっているので、満足すべき成果と言える。

他に、同部の活動としては、研究についての全国的なセミナーを開催したり、94にのぼるブレプロジェクトの指導などを行なってきた。上記の68のプロジェクトは同部の指導によって正式にプロジェクトとして承認されたものの数である。

問題としては、厚生省は入院・外来患者数に応じて予算を割り当てるので、研究部への独自の予算がないことがあげられる。そのため、各メンバーが各種の援助機関から財政的援助を仰いだり、自己負担にて遂行しており、OMS/OPSなどの国際機関とも協定を結び協力体制を作っている。精神医学と精神保健との違いについて厚生省の認識が得られにくいことも問題の一つとしてあげられる。

又、今後、社会復帰やリハビリテーションなど第三次予防に関連した課題やその他、アルコール・薬物依存、暴力など精神保健の研究を進める必要がある。

今後の活動にとって、研究方法論やコンピューターを使った統計手法、精神保健紀要の出版、研究費の獲得などが必要とされ、日本の協力が必要である。

これらの困難にも拘らず、同部は発足当時と比べれば医師メンバーやその他のメンバーが増員された他、パソコンが民間団体から供与され、堅実な活動が続けられている。

### 3-1-3 教育部

1990年に実施されたもの及び実施が決定している活動は以下の通りである。

抄読会(22)、ケーススタディー(23)、カンファレンス(5)、講習会(1)、セミナー(2)、学生実習(3\*)、卒後研修(9)、外国並びに国内留学(12)。

これらに要する機材として、オーバーヘッドプロジェクター、スライド制作機、タイプライターなどがあげられ、供与希望が出された。

技術協力終了後組織に変更があり、図書部、電気・機械部が同部に属することとなったことにより、既に日本側が入手していた機材の修理リスト、或いは図書室整備のためのテーブルや机、分類カード、外国雑誌も同部の要請としてあげられた。

註：括弧内は人数、\*は学校数

### 3-1-4 地域精神保健活動

#### ① 地域精神保健部

同部は1980年の発足以来、二つの地区でプライマリーケアを実施してきた。その第一次予防のプログラムとしては、地域や学校への教育プログラム、患者や家族のクラブの育成、その他地域への様々の参加が行なわれてきた。地域内の共同作業所は1989年に行われた活動評価の後、種々の職種の統合により一層の展開が計られている。1990年1月から9月までの活動実績中、医師又は看護婦による精神保健相談実施件数は表(3)の通りである。

一方、プロジェクト終了後、同部は正式に地域精神保健部となったので、その直後より地



域医療活動体系（SISTAC）を確立することを目指してきた。これは、短期、中期、長期的計画からなり、精神障害の早期発見、適正なフォーマット、医療情報の組織化から父子や成人のグループ活動を含むものである。

こうした活動全般について、特に、地域活動の評価に関する日本人専門家の協力が要請された他、本INSMが存在しない地域にINSMのような地域精神保健センターを建設することについて日本側へ協力が要請された。

## ② その他

成人・老年部、児童・思春期部に於いても、地域活動が行なわれている。

### 3-1-5 医療情報システム

同研究所内（INSM）で近代的病院情報システムを創設する計画が立案され、IBM中型コンピュータ（シリーズワン）と幾つかのターミナルが供与された。

INSM首脳部、現場担当者、既に退職したINSMコンピューターセンター元課長ノバラ技師及びペルーIBM技師らより事情を聴取した結果、以下のことが判明した。

上記供与機材（IBM中型コンピュータ）が現在機能していない理由として、1)人材不足（本邦にて技術研修を受けた職員他機関への転出）、2)ハードディスク部分の損傷、3)同研究所がIBMペルー社に対し支払義務を有する負債未解消、4)使用言語が極めて特殊なものである等が挙げられる。

コンピュータ導入とソフト製作の経緯を考えると、これら機材を近い将来再び稼働させ、医療情報システムの確立・活用を図ることが望まれる。

一方、本医療情報システムの一部として構想された地域精神保健部のコンピュータ（パソコン）は機能し続けており、データの打ち込みも行なわれている。

本来、本プロジェクトで立案された規模の医療情報システムを完成し、かつ維持するためには、我が国の大学病院ですら数名から10名近い高級技術者が数年かけて完成させ、その後も少なくとも4～5名の技術者が専任で従事し、機能を維持させている。

従って、同研究所の場合においても少なくとも数名の人員が確保され、かつ十分に教育され、専任技師としてその業務に当たらなければならないが、このような規模での人員配置はペルー側実施機関の財政状況を鑑みると極めて困難であろう。

よって、先方実施体制（コンピュータ部門の人員配置と運営管理予算措置）の整備が急務であるとともに、先方実施機関の体力に合った規模での技術協力の実施が望まれる。

表1 ATENCIONES DE C. E. DE ADULTOS, HOSPITALIZACION Y EMERGENCIA  
ENERO- SETIEMBRE : 1990

	C. E. ADULTOS			HOSPITALIZACION			EMERGENCIA
	TOTAL	SEXO		INGRE SO	EGRE SO	PERMA- NENCIA	TOTAL
		M	F				
Atendidos	1,062	505	557	216	219	30	2,187
Atenciones	2,471	1,048	1,423				

表2

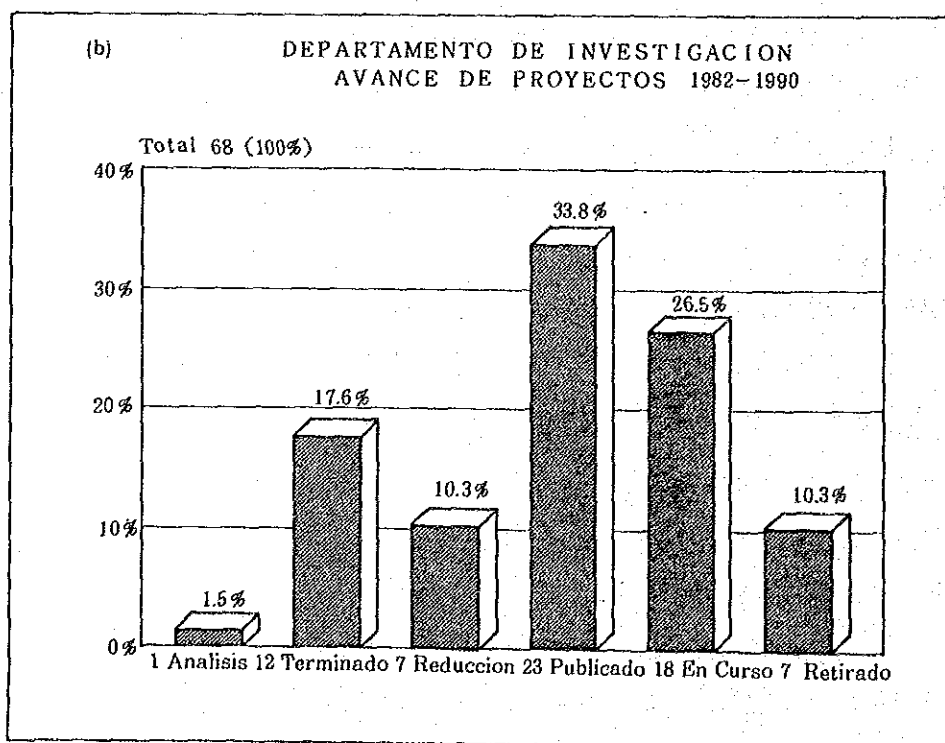
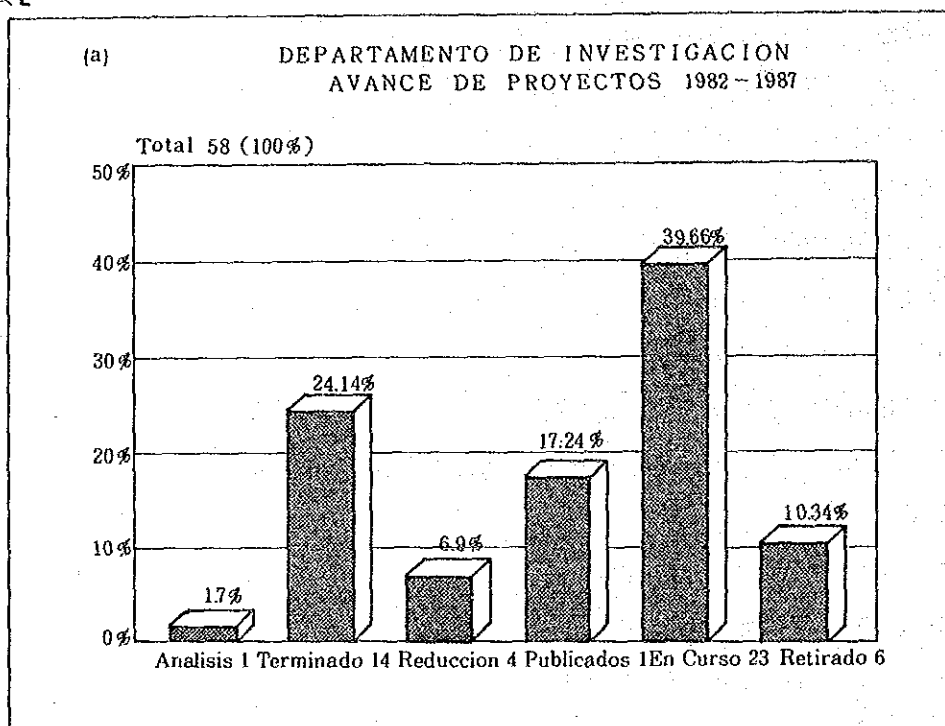


表3 EN SALUD MENTAL COMUNITARIA  
CONSULTA MEDICO-ENFERMERA POR SEXO SEGUN CENTROS DE SALUD  
ENERO- SETIEMBRE - 1990

CENTROS DE SALUD	TOTAL	ATENDIDOS		TOTAL	ATENCIONES	
		M	F		M	F
TOTAL	312	162	150	790	395	395
B1	88	50	38	195	102	93
B2	49	21	28	89	38	51
B3	24	11	13	54	28	26
B4	28	17	11	58	38	20
B5	35	22	13	101	62	39
B6	88	41	47	293	127	166
B7	—	—	—	—	—	—

ATENCIONES DE ENFERMERIA EN SALUD MENTAL COMUNITARIA  
POR SEXO SEGUN CENTROS DE SALUD  
ENERO-SETIEMBRE DE 1990

CENTROS DE SALUD	TOTAL	ATENDIDOS		TOTAL	ATENCIONES	
		M	F		M	F
TOTAL	693	347	346	1,960	973	987
B1	146	69	77	397	189	208
B2	127	60	67	380	154	226
B3	56	31	25	171	88	83
B4	45	30	15	104	72	32
B5	88	41	47	258	139	119
B6	153	74	79	344	169	175
B7	78	42	36	306	162	174

### 3-2 既供与機材の利用・管理状況

心電計、脳波計等の基幹臨床機器を含めた一般機器は、一応の機能をなし、実際の臨床活動の現場で積極的に活用されている。

しかし、消耗品（用紙、試薬）不足により機材の機能が十分に発揮されていないものが見受けられ、例えば、脳波計はチャンネル数を落とすなどして使用されていた。

また、生化学分析機器の中にはサービスマニュアルの不備や研究所の財政状況に起因する試薬不足により、適切な補修、保守がなされず、正常稼動に問題を生じているものもある。特に、島津製検査機器は、かつて、現地に同社海外支店が設置されていたため、多数供与されたが、数年前に同支店が南米アルゼンティンに移転したため、アフターサービスが急速に低下し、これら検査機材の保守・維持管理並びに試薬を含めた消耗品の調達が極めて困難な状況にある。

パーソナルコンピュータは小規模の消耗品補充にてより一層の有効利用を図れるものが多く、ほとんどの機器は十分に機能している。

音響機器はソニーベータⅠの旧式型式のものが供与され、現在においても機能している。しかし、近年の利用状況から判断すると、新規供与の際には、仕様をVHS方式とすることが望ましい。同研究所で開発される教材は全国レベルでのスタッフ訓練に多用されており、同国内においてVHS方式が急速に普及しているためである。

今次のアフターケア協力の実施を通じ、同研究所の機能の再活性化を図る目的で、既供与機材のスペアパーツの供与及び耐用年数に達した機材で診療活動に不可欠なものの新規供与を予算の範囲内で実施することとした。

## 4. アフターケア協力の実施上の留意点

### (1) 機材選定

最有効なもの、現地で修理可能なもの、壊れ難いもの、消耗部品及び消耗品が現地で補給可能なもの等の配慮が必要である。

コンピューター関係は、コネクションの可能性など慎重に検討して決定すべきものである。タイプライター等は、時には、電動より手動が良い場合もありうる。

先方実施機関である国立精神衛生研究所（INSM）は、財政状況に起因するところのローカルコスト不足に直面しており、故に、今次のアフターケア協力の実施を通じ、同研究所の機能の長期維持を図るため、既供与機材の消耗部品等の供与を優先的に行なうこととする。

### (2) INSM紀要の発刊

本INSM紀要 *Anales de Salud Mental* は国際的に登録された学術誌でもあり、INSMが医学機関であることから、規模を縮小しても、継続刊行が望ましい。

### (3) 今後の我が方協力の必要性

当調査団と先方実施機関側スタッフとの第一回全体会議時に、ペルー側カウンターパートから我が方アフターケア協力では対応できない規模の協力要請が提示された。

そのなかには、「地域精神衛生センター」や「薬物・アルコール依存症病棟」建設・設備のための資金協力も含まれていた。

我が方は今次のアフターケア協力の主旨とスキームを説明し、先方の了解を取り付け、アフターケア協力計画の策定を進めた。

しかし、麻薬の蔓延、アルコール症の増加、地域保健所の弱体などのペルー国の現状を考慮すると、これ等の希望もあながち理屈がない訳ではない。

さらに、慢性的な物的人的資源の欠乏、そこからくるモラル面への影響などを考えると、他日、新たに組織的な我が方の援助プロジェクトの再開が望まれる。

当然、JICAによるガバメンタルな方式が第一であるが、必要かつ可能であるなら、適切な善意によるノンガバメンタルな方式の併用も考慮の余地があるのではないかと思える。

## 5. アフターケア協力効果の予測

### (1) 機材面

上述した如く、各機材の不足部品や損傷は予想外に小さなものが多く、今次のアフターケアにて大部分は機能をフルに回復し得るものと思える。但し、情報システムの中のIBM中型コンピューターは、先方実施体制（人員の配置）が整備されるまでの間、具体的な協力に着手せず、現状保全に努めるのが最も合理的である。又、先方準備促進の刺激も必要であろう。当面は本システム外での活動に専念すべきであり、かつそれで十分である。

### (2) 機能面

困難な社会情勢の中で生き延びた本INSMが、改めて当初の目標である臨床、教育、研究、地域活動のペルー国全体のモデル施設として再生する大きな希望が持てることが、日秘双方医師団にて確認された。

そのみならず、現在のペルー国の国家的困難を解決するための、精神衛生学よりの大きな試みPueblo Javenesの精神衛生改善、一般国民のモラルの向上、暴力行動の解明、麻薬問題への寄与等）の新しい目的に進むことが可能となろう。

即ち、ペルー国のみならず、途上国全体の為の精神衛生学への貢献という大目標の復活である。このためには、社会精神医学、生物学的精神医学、院内外臨床と教育が一丸となって推進する必要がある。日本側専門家も、この方向に努力を惜しまないであろう。

### (3) 心理的効果

4～5年にわたる社会悪化、政権交代、それに伴う人事交代等にて、先方職員間にはかなりの潜在的動揺がみられる。一方、我が方調査団は常に公平、中立、善意の立場をとり続けた。故に今回のアフターケア調査団の派遣は彼等の心の救いともなったようであり、これに続くアフターケアの実施は、適切な時に行なわれる最大の激励であろう。その心理的効果は、INSM再生に計り知れぬ力となることを確信する。そして、再生のみならず、更なる前進と本INSMに托された真の目的へと進む機会となることも確信する。

そして、一切は、何時の日か、彼我の強固な友情という形で、我が方に力強く大きく反映するであろうことを、固く信じる。

一言で言えば、本アフターケアは最も適切な時に行われ、INSM再生と前進への偉大な礎石となるものであろう。

## 附 属 資 料

- ① アフターケア調査団協議議事録（ミニッツ）
- ② “オノリオ・デルガードー野口英世” 国立精神衛生研究所の組織図
- ③ 研究部の Work Plan（1982～1990）と実績
- ④ 研究部の事業実績（1982～1987）
- ⑤ 地域精神保健部の活動実績（1987～1990）
- ⑥ リハビリテーション部治療指針と組織作り計画
- ⑦ アフターケア調査団の派遣を紹介する現地新聞 “El Comercio”（1990.11.20）





① アフターケア調査団協議議事録（ミニッツ）



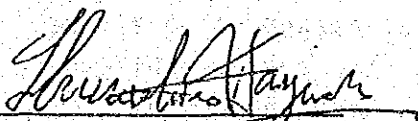
THE MINUTES OF MEETING BETWEEN  
THE JAPANESE AFTERCARE COOPERATION SURVEY TEAM AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF  
THE REPUBLIC OF PERU  
ON THE AFTERCARE COOPERATION FOR  
THE DEVELOPMENT OF COMMUNITY MENTAL HEALTH  
SERVICES PROJECT

The Japanese Aftercare Cooperation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Dr. Shunichiro HAYASHI, Professor, School of Hygienic Sciences, Kitasato University, visited the Republic of Peru from November 19th to November 27th, 1990 for the purpose of working out the details of the aftercare cooperation programme concerning the Development of Community Mental Health Services Project in the Republic of Peru (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in the Republic of Peru, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Peruvian authorities concerned in respect of the activities, functions and needs of the Project.

As a result of the discussions, the Team and the Peruvian authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

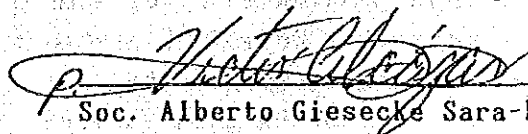
Lima, November 26th, 1990



Dr. Shunichiro HAYASHI  
Leader,  
Japanese Aftercare Cooperation  
Survey Team, JICA  
Japan



Dr. Jorge Castro Morales  
Director,  
National Institute of Mental Health  
Ministry of Health  
The Republic of Peru



Soc. Alberto Giesecke Sara-Lafosse  
General Director,  
General Office of International Technical Cooperation  
National Planning Institute  
The Republic of Peru

ATTACHED DOCUMENT

I. Dispatch of Japanese Experts

Both sides agreed that there was need of Japanese experts for more effective and fruitful implementation of the Project in the fields of:

- 1) Community Mental Health
- 2) Psychiatric Rehabilitation
- 3) Maintenance of Biomedical Equipment

Dispatch of the Japanese experts are subject to change within the Japanese budgetary limit.

Dispatch of the Japanese experts should be requested in Form A-1.

II. Provision of Equipment

Equipment necessary for the Project will be provided within the limit of the budgetary allocation of the Japanese Government according to the priority of the equipment list attached in Annex.

This provision of equipment should be requested in Form A-4.

III. Cost of custom clearance, internal transportation, installation, maintenance of Equipment provided by the Government of Japan and so on should be borne by the Government of the Republic of Peru.

IV. Implementation of Cooperation

The above mentioned aftercare cooperation programme will be carried out within the Japanese fiscal year of 1990 (from April 1st, 1990 to March 31st, 1991) upon the request of the Government of the Republic of Peru. For this purpose, Form A-1 and A-4 are expected to arrive at JICA by the end of December, 1990.

## ANNEX

## List of Equipment

ITEM	DESCRIPTION	MANUFACTURING / TYPE	NUMBER
1.	Tools Case of Electronic Equipment	Hozan	2
2.	Weld Pistol Solder 140w/220v	Weller	2
3.	Solder Pencil Type 20w/220v	Weller	2
4.	Solder Pencil Type 40w/220v	Weller	2
5.	Soldering Plug	Weller	2
6.	Analog Multitester 501	Sanwa	2
7.	Digital Multitester	Sanwa	2
8.	Monochromatic Monitor	Atari Mega ST4-SM124	1
9.	Laser Printer	Atari SLM 804	1
10.	Disk	Atari Megafile 44	1
11.	Migraph Hand Scanner		1
12.	Calamus (Software)		1
13.	IBM-Drive 5 1/4	IBM	1
14.	ETC Equipment	MECTA (JR1 or JR2) or REITER	2
15.	Personel System II (Computer)	IBM SP/50Z 8550061	1
16.	Personel Computer (40MB-Drive)	IBM	5
17.	Printer	IBM or EPSON	5
18.	Printer	IBM or Hewlett Packard	1
19.	Connecting Cables for Computer System		500m
20.	Copying Machine	Mita	2
21.	Betamax	SONY Model: SL 5000	2
22.	TV Color Monitor	SONY 20" Remote Control	1
23.	Video Camera (3/4 inch Tape)	SONY DXC-1820	1set
	including: Camera Head DXC-1820		
	View Finder DXF-1820		
	Battery Adapter DC-6		
	Shoulder Pad VCT-1820		
	Carrying Case LC-1820		
	Zoom Lens VCL-1012 SY		
	Camera Cable CCQ-2AR		
	Attachement for Tripod VCT-12		
	Battery Pack BP-60		
24.	VHS-BETA Adaptor (Converter)		1
25.	Oxygen Therapy Equipment	Sharp	2
26.	Spectrophotometer	Spectronic 401	1
27.	Portable 3/4 inch Video Tape Recorder	SONY VO-6800	1
28.	Deck Tape Recorder	Technics M225	1

ITEM	DESCRIPTION	MANUFACTURING / TYPE	NUMBER
11.	Illumination Kit for Photo Lamp (RDS-220V 650W)	Nikon	3
12.	IC-AD 30/09M for Electroencefalography	17 channels Model: 4217 NIHON KOHDEN	10
13.	IC:LM 555 for Electroencefalography	17 channels Model: 4217 NIHON KOHDEN	10
14.	IC:SN 7447 for Electroencefalography	17 channels Model: 4217 NIHON KOHDEN	10
15.	Illumination Kit for Video 220V/AC Lamp	650W FUJI	3
16.	Processing Belt for Slide Processor	3M Model: 45 FBAA	1
17.	Revealing Kit for Color Slide Processor (PANACOPY	PANACOPY Model: KV-55TK Model: KV5100)	1
18.	Thoner for Color Slide Processor	PANACOPY Model: KV-55TK	1
19.	Fixer for Color Slide Processor	PANACOPY Model: KV-10XE	1
20.	Slide for Color Slide Processor	PANACOPY Model: KV-50FM	1,000
21.	Cleanser for Color Slide Processor	PANACOPY Model: KV-10CS	2
22.	Grill for Mimeograph	LION LS200E Series: 622137	1
23.	Gridle for Mimeograph	LION LS200E Series: 622137	1
24.	Power Adaptor	ELMO Model: 3000AF Series: 6514035	1
25.	Valvule of Photocell	RICOH Model: F550 Series: 13535	1
26.	Compressor Motor for Dehumidifier	SANYO Model: SDH253B	3
27.	Fuse 1 Amp. 220V for ETC Equipment	YAESU	12
28.	Instrumentation Tape Recorder for Polygraph	SONY Series: X 2163193 AC 220V 130VA 12V7A	1
29.	Insertor of Microfilm Camera Processor (Mirle 1200)	FUJI Model: MFG 1381673	1
30.	Battery	NEC Model: 27116A-22 Series: 430355 Input 220V/AC 50/60Hz 4.5VA Output 8.7V DC Set Spec No. MPS-A-465-3E	10
31.	Pump of High Performance Liquid Chromatograph	SHIMAZU Model: LC-3A Series: 23531-S	1

List of Supplies

ITEM	DESCRIPTION	MANUFACTURING / TYPE	NUMBER
1.	Reactive Kit for Cocaine Urinalisis	EMIT Compatible	5
2.	Diskettes for Word Processor	Olivetti ETV300	2Boxes
3.	Bond Paper	A4	20,000
4.	Stencil Paper	Standard Electronic	500
5.	Stencil Ink	Tube	100
6.	Ink Ribbon for Typing Machine	Casette or Type Cart (Correctable and Cotton Types) CANON AP360	50each



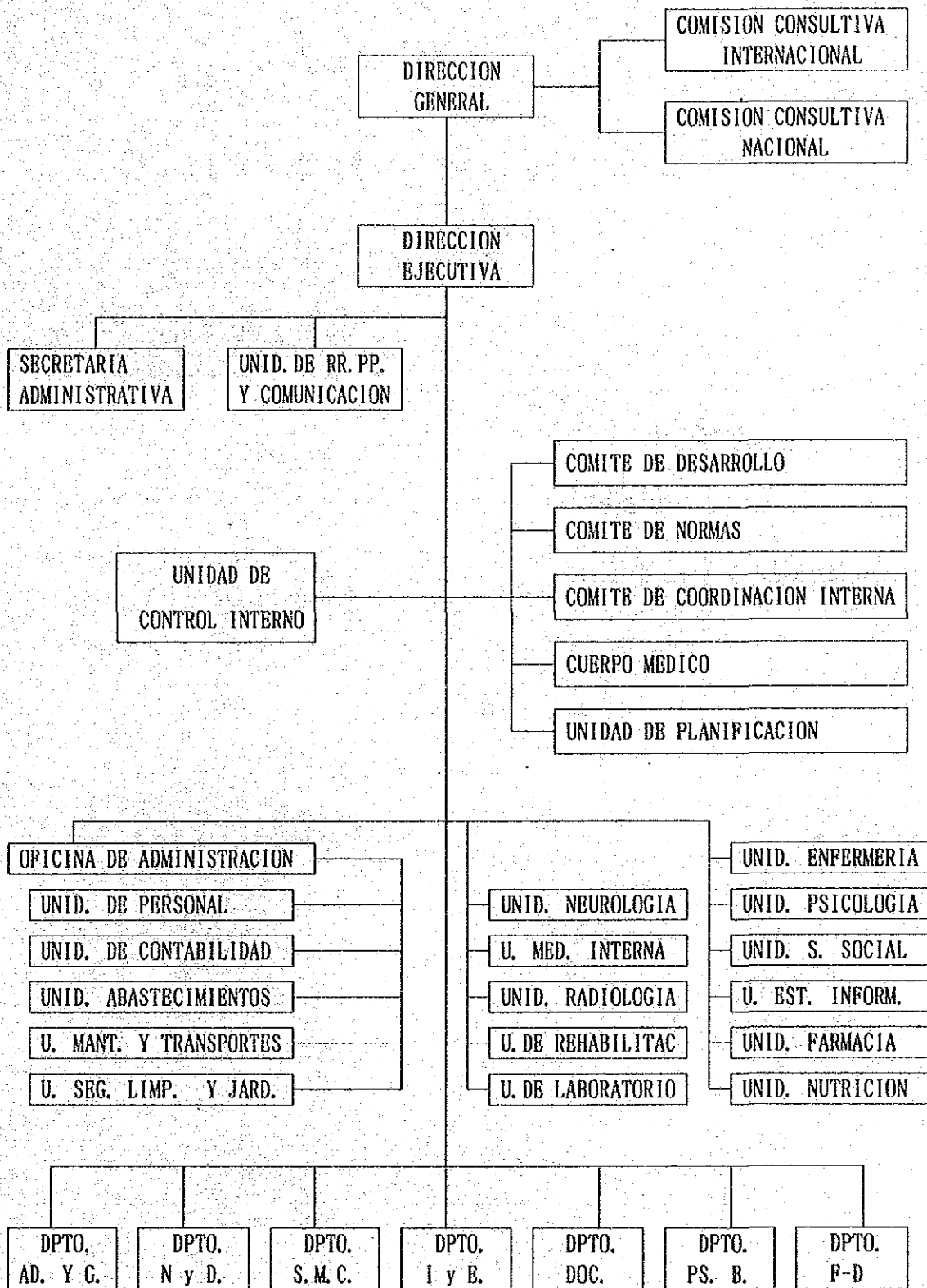


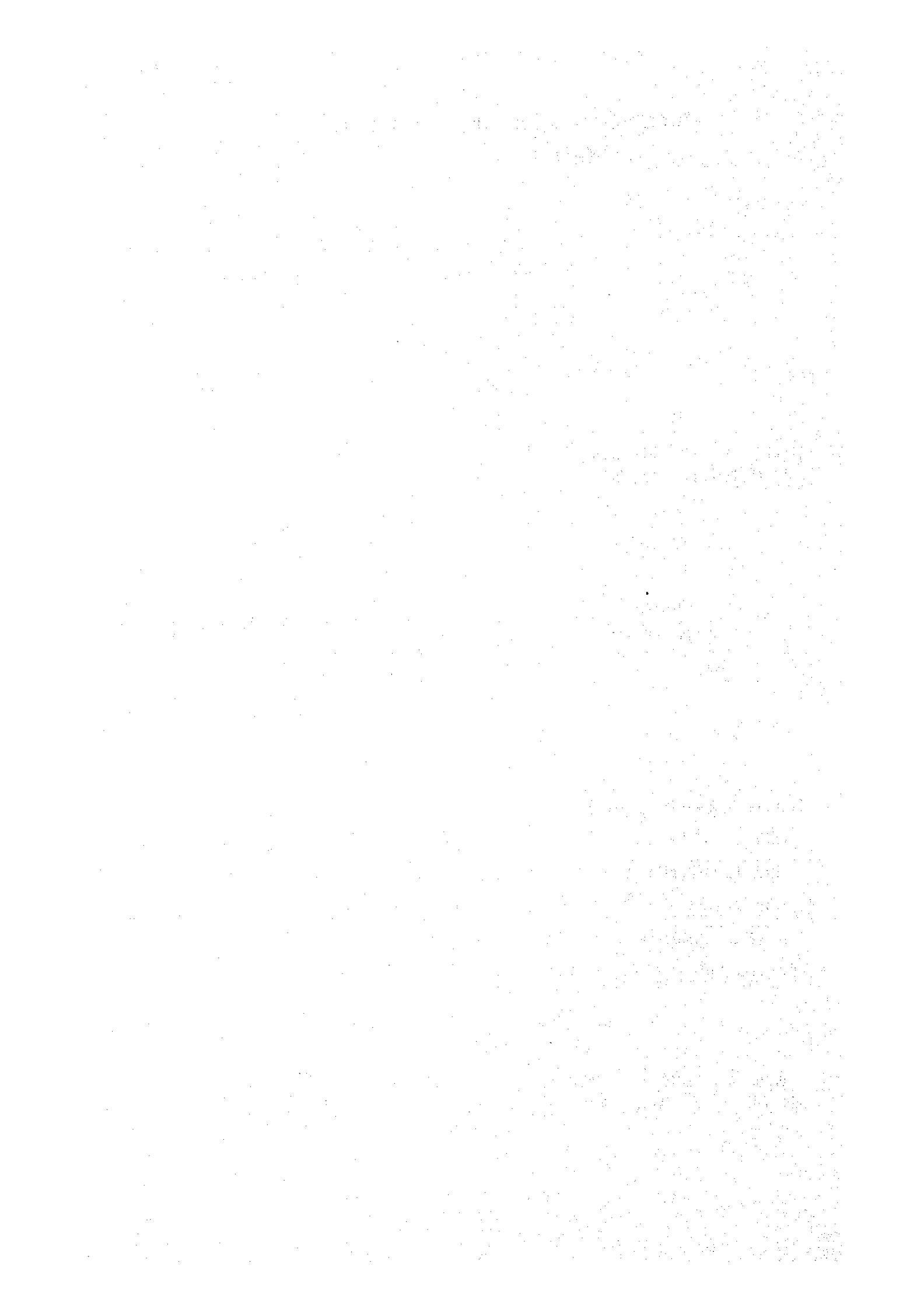
② “オノリオ・デルガードー野口英世” 国立精神衛生研究所の組織図



ORGANIGRAMA ESTRUCTURAL INSTITUTO NACIONAL DE SALUD MENTAL

"HONORIO DELGADO - HIDEYO NOGUCHI"





### ③ 研究部の Work Plan (1982~1990) と実績



INSTITUTO NACIONAL DE SALUD MENTAL

"HONORIO DELGADO - HIDEYO NOGUCHI"

DEPARTAMENTO DE INVESTIGACION

PLAN DE TRABAJO 1982 - 1990

LIMA - PERU

INSM-001-82.- "ESTUDIO DE EPIDEMIOLOGIA PSIQUIATRICA EN EL DISTRITO DE INDEPENDENCIA CON EL USO DE UN INSTRUMENTO PARA DIAGNOSTICOS ESTANADARIZADOS (DIS) " Primera parte.

Autores: S. HAYASCHI; A. PERALES; R. LLANOS; D. WARTHON Y C. SOGI.

Estudia la prevalencia de los desórdenes mentales en el Distrito de Independencia y correlaciona los hallazgos de morbilidad psiquiátrica con las características socioeconómicas de la población estudiada. La primera parte fue concluida a comienzos de 1983 con una muestra de 798 sujetos.

Este proyecto cuenta con la promoción de JICA y la Misión Japonesa, además de la asesoría técnica de la Universidad de los Angeles California U.S.A.

INSM-002-82.- "ESTUDIO PILOTO DE VALIDACION DEL DIS"

Autores: S. HAYASCHI; A. PERALES; R. LLANOS; D. WARTHON Y C. SOGI.

Intenta validar el Diagnóstico Interview Schudule (DIS) en una muestra previamente diagnosticada con los criterios de la D.S.M de la Asociación Psiquiátrica Americana. del DIS es un cuestionario estructurado de investigación epidemiológica que permite al personal no-médico, pero adecuadamente adiestrado, efectuar diagnosticos psiquiátricos con alto indice de confiabilidad.

INSM-003-82.- " RELACION MADRE-HIJO EN UNA POBLACION MARGINAL DE LIMA: ESTUDIO PILOTO"

Autores: A. PERALES; K. TEJADA; M. VILLANUEVA  
S. HAYASHI

Utilizando un cuestionario para estudios internacionales comparativos en este campo se propone estudiar dicha relación a través de las opiniones emitidas por jóvenes de 10 a 15 años y sus respectivas madres en torno a múltiples áreas.

Los resultados, aparte de aportar información sobre las características de esta relación en la población estudiada servirán para adecuar el instrumento y metodología a fin de extender la muestra a nivel nacional.

INSM-004-82.- " DESARROLLO DE UN MODELO EXPERIMENTAL DE CONSUMO DE PBC EN RATAS ALBINAS UTILIZANDO CONDICIONAMIENTO OPERANTE".

Autores: M. VILLANUEVA Y M. CLAUX.

Habiendo realizado un estudio piloto previo en esta investigación, a través de la aplicación de los principios del Análisis Experimental de la Conducta, utilizando una caja de Skinner y ratas albinas, se intenta verificar las propiedades reforzantes de la inhalación de la Pasta Básica de Cocaína.

INSM-005-82.- "INDICADORES DE SELECCION DE PERSONAL PARA TRABAJAR EN SALUD MENTAL"

Autor: A. PERALES; I. ZARATE Y F. CRISPIN.

Intenta relacionar, con propósitos pronósticos, indicadores de comportamiento y resultados de prueba psicológicas de selección de personal en cuanto a la adaptabilidad del futuro empleado para el campo de la Salud Mental.



INSM-006-82.- "ESTUDIO PILOTO SOBRE DEPRESION EN POBLACION MARGINAL DEL DISTRITO DE INDEPENDENCIA"

Autores: K. MINOBE Y SATO

Intenta precisar, con los criterios de la DSM-III, los diagnósticos de depresión efectuados en los Centros Perifericos del Instituto por profesionales no-médico.

INSM-007-82.- "CARACTERISTICAS DE ATENCION PSIQUIATRICA EN UN SERVICIO DE EMERGENCIA DEL HOSPITAL GENERAL"

Autor: L. MATOS R.

Intenta precisar las características demográficas, diagnósticas y disposición terapéutica en una población asistida en el servicio de Emergencia de un Hospital General durante un periodo de tres años.

INSM-008-82.- "CORRELACION DE PATOLOGIA PSIQUIATRICA MADRE-NINO EN CASOS DE ENURESIS NOCTURNA"

Autor: L. MATOS. R.

Partiendo del concepto que la patología psiquiátrica del niño dependiente depende, en gran medida, de la patología de su soporte social más significativo: su madre, el proyecto intenta estudiar que grado de correlación existe entre el cuadro enurético. (patología declarada del niño), y el estado de salud mental de la madre. (patología enmascarada), de la que el primero vendría a constituir de la evidencia mas visible de tal alteración.

INSM-009-82.- "FUNCION DEL SOPORTE SOCIAL EN EL DESORDEN DE ADAPTACION"

Autor: CARLOS ALVARADO

Intenta demostrar la probable relación entre el sistema del soporte social y la patología mental de índole reactiva, específicamente del Desorden de Adaptación (DSM-III), proponiendo hipotéticamente que dicha patología estaría vinculada a un soporte social débil o ausente y su pronóstico cursaría en relación directa con la calidad de tal factor.

ISM-010-82.- "PSICOPATOLOGIA DE LOS CURANDEROS DE LA CIUDAD DE SALAS DEL DEPARTAMENTO DE LAMBAYEQUE-PERU"

Autor: E. BERNAL GARCIA

Luego de haber realizado el censo de curanderos en dicha localidad por el método curzado de información, intenta determinar el grado de psicopatología de los mismos utilizando métodos clínicos y un instrumento para entrevista diagnóstica estructurada. (DIS).

INSM-011-82.- "COMUNICACION NO VERBAL DURANTE LA PRIMERA ENTREVISTA EN PACIENTES DE CONSULTA EXTERNA DE PSIQUIATRIA: UN ESTUDIO PILOTO"

Autores: M. NIZAMA; E. CORTEZ; G. LEGUIA Y ANA PEREZ

A través de técnicas de video y utilizando un registro de observación sistemática elaborado por los autores, intenta identificar indicadores clínicos no verbales con el fin de contribuir al conocimiento de este tipo de comunicación en psiquiatría.

INSM-012-82.- "ENCUESTA DE OPINIONES SOBRE SALUD MENTAL EN UNA POBLACION MARGINAL"

Autores: R. CASTRO DE LA MATA Y J. LOPEZ RODAS.

Intenta evaluar las opiniones y expectativas sobre diversas áreas de Salud Mental en la población general de varios distritos marginales del Cono Norte de Lima, área de influencia y servicio del Instituto.

INSM-013-82.- "ESTANDARIZACION DEL CUESTIONARIO S.I.D. PARA DESSORDENES DEPRESIVOS"

Autor: R. LLANOS.

La entrevista SID (Standardisierter interview Depresiver) es un instrumento utilizado en el Instituto Max Planck de Munich, Alemania para el estudio evolutivo de los Desórdenes Depresivos. Consta de 28 preguntas que evalúan aspectos psicosociales, emocionales y psicopatológicos de esta entidad clínica. El proyecto se propone su validación en población peruana.

INSM-014-83.- "RELACION MADRE-HIJO EN LA COLONIA JAPONESA DE LIMA METROPOLITANA"

Autores: T. SATO Y K. MINOBE.

Utilizando un cuestionario diseñado por la Oficina Para el Desarrollo de la Juventud de la Oficina de Primer Ministro de Japón, se propone estudiar las características de la relación entre jóvenes de 10 a 15 años, peruanos descendientes de japoneses, y sus madres.

INSM-015-82.- "HISTORIA CLINICA SEMIESTRUCTURADA DEL INSTITUTO NACIONAL DE SALUD MENTAL "HONORIO DELGADO-HIDEYO NOGUCHI"

Autores: K. TEJADA E I. LOPEZ MERINO.

Intenta evaluar la aplicabilidad de nuestro medio de un modelo de historia clínica desarrollado por el Psiquiatra peruano Juan Mezrich en Pittsburg USA, que combina partes narrativas clásicas con preguntas estructuradas. El instrumento se encuentra en uso expe-

rimental en el Instituto desde el inicio de sus funciones.

INSM-016-83.- "ESTUDIO DE EPIDEMIOLOGIA PSIQUIATRICA EN EL DISTRITO DE INDEPENDENCIA CON EL USO DE UN INSTRUMENTO PARA DIAGNOSTICOS ESTANDARIZADOS (DIS)- SEGUNDA PARTE.

Autores: K. MINOBE; A. PERALES; D. WARTHON; C. SOGI; R. LLANOS Y T. SATO.

De acuerdo al diseño previamente establecido complementa con la misma metodología el proyecto INSM-001-82 extendiendo la muestra a 800 sujetos adicionales del distrito de Independencia de Lima.

Esta segunda parte cuenta, también, con la promoción de JICA y la Misión Japonesa, además de la asesoría técnica de la Universidad de los Angeles California USA.

INSM-017-82.- "ESTUDIO SINTOMATOLOGICO COMPARATIVO EN PACIENTES ESQUIZOFRENICOS ORIUNDOS DE LA COSTA Y SIERRA DEL PERU"

Autor: A. PERALES Y COL.

Desde Gutierrez Noriega hasta nuestros días se han venido señalando, en forma no sistematizada, que los desórdenes esquizofrénicos se presentan con diferentes características en pacientes oriundos de la Costa y Sierra. El estudio se dirige a precisar, empleando escalas de evaluación Psiquiátrica, si existen tales diferencias sintomatológicas. Se realiza en colaboración con la Universidad Nacional Mayor de San Marcos.

INSM-018-82.- "HISTORIA EDUCACIONAL DEL ESTUDIANTE SECUNDARIO QUE ABANDONA LA ESCUELA Y FACTORES O CAUSAS QUE INTERVIENEN EN DICHO AUSENTISMO EN EL DISTRITO DE INDEPENDENCIA".

Autor: JOSE LOPEZ RODAS

Registrando sistemáticamente la historia educacional de los alumnos secundarios que desertan de la escuela durante el periodo lectivo de 1983, intentará identificar los factores que intervienen en tal conducta. La población escolar escogida corresponde al Distrito de Independencia de Lima.

INSM-019-83.- "USO DEL HALOPERIDOL DEPOT EN EL TRATAMIENTO DE PACIENTES ESQUIZOFRENICOS AMBULATORIOS".

Autores: I. LOPEZ MERINO Y K. TEJADA.

Intenta precisar las ventajas y desventajas del empleo del haloperidol depot en pacientes esquizofrenicos ambulatorios como modelo alternativo de tratamiento.

INSM-020-83.- "HISTORIA CLINICA MEDICA COMPUTARIZADA"

Autores: J. CHIRINOS Y J. NOVARA.

Intenta desarrollar un instrumento de registro clinico médico computarizado que permita la fácil codificación de signos y sintomas de los pacientes psiquiátricos que asistan al Instituto Nacional de Salud Mental "HD-HN" y que pueda servir de apoyo, por su fácil uso, para tareas de investigación, docencia y asistenciales.

INSM-021-82.- "NIVEL DE NEUROTICISMO EN MADRES Y NIÑOS CON PROBLEMAS DE CONDUCTA"

Autor : J. SILVA.

Utilizando el Inventario de Personalidad de Eysenck intenta correlacionar el nivel de neuroticismo entre madres y sus hijos consul-

tantantes del Departamento de Psiquiatria  
Infantildel Instituto.

INSM-022-83.- " ESTUDIO COMOPARATIVO DEL ALPRAZOLAN Y  
CLOBAZAN EN EL TRATAMIENTO DE LOS DESORDENES  
DE ANGUSTIA"

Autores: J.MARIATEGUI; A.CASTILLO Y H.CHAVEZ

Intenta demostrar la validez y confiabilidad  
de las Escalas para Depresión de Zung, Beck y  
Hamilton así como la correlación entre ellas  
en la población general y hospitalaria de  
Lima Urbana a fin de aportar medidas de  
valoración diagnóstica más precisas para la  
depresión en el Perú.

INSM-023-82 "ESTANDARIZACION Y CORRELACION DE LAS ESCALAS  
PARA DEPRESION DE ZUNG BECK Y HAMILTON EN LA  
POBLACION DE LIMA URBANA"

AUTORES: J. NOVARA; C.SOTILLO Y D. WARTHON

Intenta demostrar la validez y confiabilidad  
de las Escalas para Depresión de Zung, Beck y  
Hamilton así como la correlación entre ellas  
en la población general y hospitalaria de Lima  
Urbana a fin de aportar medidas de valoración  
diagnóstica más precisas para la depresión en  
el Perú.

INSM-024-84.- "LA FAMILIA COMO PARTICIPANTE ACTIVO EN LA  
RECUPERACION DE SUS NIÑOS MALNUTRIDOS"

Autor: E. PIAZZON; M. BLACH; E. WACHER; I.  
MEDINA Y E. MORALES.

Utilizando un instrumento de creación nacional  
para la estimulación del desarrollo normal,  
en niños mal nutridos, se propone demostrar  
que las habilidades motoras gruesas serán más  
retardadas que las otras; que la recuperación  
positivamente correlacionados con la  
velocidad de la recuperación comportamental y  
que la severidad de la malnutrición inicial  
será negativamente correlacionada con la  
velocidad de la recuperación comportamental.

INSM-025-84.- "INVESTIGACION EPIDEMIOLOGICA DEL ALCOHOLISMO"

Autores: J. MARIATEGUI Y C. SOGI.

A propósito de un esbozo de estudio del estado actual del alcoholismo en el Perú se ofrecen los resultados correspondientes a los rubros alcoholismo y abuso de alcohol de la primera fase (1982) de la investigación epidemiológica psiquiátrica realizada en una zona marginal de la gran Lima, el Distrito de Independencia.

La prevalencia de vida fue de 14.21% para el abuso y la dependencia del alcohol. Después de considerar algunos aspectos demográficos y la metodología empleada, se ofrecen los resultados obtenidos y la discusión de los hallazgos, considerados de alcance limitado por la necesidad de estudios complementarios socio-antropológicos.

INSM-026-84.- "UTILIZACION DE LOS SERVICIOS DE MEDICINA TRADICIONAL POR LA PUBLACION ASISTIDA"

Autores: R. TAKAHASHI; C. SOGI Y T. SATO.

Se encuestó una muestra de 456 sujetos 396 pacientes adultos de tres hospitales y 60 personas de un pueblo joven de reciente asentamiento en Lima. Se indagó sobre utilización de los servicios de medicina tradicional y niveles de información correspondientes. El 23% declaró haber consultado con curandero por su enfermedad actual, que contrasta con la alta familiaridad de la población con las creencias y prácticas tradicionales. Se halló que la población no escatima esfuerzos para desplazarse geográficamente en búsqueda de salud. De las variables estudiadas, el tiempo de residencia en Lima discrimina entre los que consultaron con curanderos de aquellos que no lo hacen.

INSM-027-84.- "FIGURAS REPRESENTATIVAS DE LA PSIQUIATRIA PERUANA: I. CARLOS ALBERTO FIGUIN"

Autores: A. PERALES Y J. CASTRO

A través de técnicas de ideación

intenta preservar la imagen del Dr. Carlos Alberto Seguin, ilustre y representativo psiquiatra peruano que debe ser recordado por las generaciones venideras. Es el inicio de la creación de una videoteca de exponentes destacados de la psiquiatría peruana y latinoamericana.

INSM-027-85.- "OBSERVACION DE LA INFLUENCIA DEL TRATAMIENTO FARMACOLOGICO SOBRE LA CONDUCTA AGRESIVA"

Autor: Dr. JOSE VALVERDE CARDENAS.

Intenta precisar la probable relación existente entre diferentes esquemas farmacológicos y la conducta agresiva utilizando la administración de escalas de evaluación psiquiátrica en un diseño de investigación de caso unico.

INSM-028-85.- "RELACION ENTRE CASTIGO FISICO Y PERTURBACION EMOCIONAL EN NIÑOS A TRAVES DEL DUBUJO DE LA FIGURA HUMANA"

Autor: EMILIA CHONG SANTA CRUZ.

Mediante un cuestionario aplicado a las madres destinado a obtener datos sobre los métodos de castigo que aplican a sus hijos, y la administración del Test del dibujo de la Figura Humana a estos últimos, se propone evaluar la relación entre indicadores emocionales y actitudes maternas. Los resultados permitirán conocer el grado de perturbación emocional de los niños con experiencia de maltrato físico.

INSM-029-85.- "FORMATO SEMI-ESTRUCTURADO DE EVALUACION INICIAL Y SU USO EN LIMA Y PITTSBURGH"

Autores: D. WARTHON; C. SOGI; I. LOPEZ; J. CASTRO; K. TEJADA J. MEZZICH

Se describe un procedimiento de evaluación psiquiátrica semi-estructurado, que permite una entrevista flexible estandarizada, que cubre todas las áreas claves de la condición clínica del paciente, incluyendo todas las fuentes de información.



Un estudio preliminar realizado en nuestro Instituto demostró su confiabilidad, aceptabilidad, por los clínicos en Salud Mental.

El proyecto tiene como objetivo comparar las ventajas y limitaciones del registro, y de la evaluación y clasificación de los datos clínicos, en poblaciones asistidas en el INSM (Lima) y la Western Psychiatric Institute and Clinic. (Pittsburgh-USA), señalando las concordancias y diferencias más significativas.

INSM-030-85.- "ESTUDIO COMPARATIVO DE LA INTERACCION FAMILIAR FORMULACION DE UN INSTRUMENTO DIAGNOSTICO"

Autor: DWIGHT ORDÓÑEZ BUSTAMENTE

Se tomará una muestra de 60 familias residentes del Cono Norte de la Ciudad de Lima, que tengan entre sus miembros a pacientes con diagnóstico definitivo de esquizofrenia, hospitalizados en el INSM "HD-HN"

INSM-031-85.- "CORRELACION DE PATOLOGIA PSIQUIATRICA MADRE-NIÑO EN CASOS DE DEPRESION INFANTIL"

Autor: L. MATOS.

Se postula que en casos de depresión infantil, la madre- el soporte social más importante para el niño- puede constituirse en el elemento patogenizante del binomio como consecuencia de su propia depresión. De confirmarse la hipótesis, los esfuerzos terapéuticos se reorientan hacia la madre, obteniéndose así un efecto multiplicador.

INSM-032-85.- "APRESTAMIENTO MADUREZ Y LECTO ESCRITURA EN NIÑOS DE UN CENTRO EDUCATIVO"

Autores: C. MARCHENA Y M. SANTOS.

Intenta evaluar comparativamente la función del aprestamiento escolar en madurez para la lecto-escritura en grupos de niños de ambos sexos, entre 5-7 años de edad de un Centro Educativo Urbano Marginal, con y sin dicho aprestamiento.

Educativo Urbano Marginal, con y sin dicho aprestamiento.

Explora, además, factores psicosociales y pedagógicos concurrentes.

INSM-033-85.- "EVALUACION COMPARATIVA DOBLE CIEGO DE LA EFICACIA DEL ADINAZOLAM Y TRICICLICOS ESTANDAR EN PACIENTES DEPRESIVOS AMBULATORIOS"

Autores: A. CASTILLO; C. SOTILLO Y J. MARIATEGUI

En diseño doble ciego se evalúa comparativamente la eficacia y seguridad del Adinazolam con los tricíclicos estándar en una muestra de 80 pacientes deprimidos ambulatorios que cumplen los criterios del DSM-III para Episodio Depresivo Mayor.

El estudio contempla las consideraciones éticas pertinentes y las pautas para el consentimiento del paciente.

INSM-034-85.- "OBJETIVOS VITALES Y ACTITUDES HACIA EL SEXO EN ADOLESCENTES DEL DISTRITO DE INDEPENDENCIA"

Autor: J. CARLOS MONTERO.

Se propone estudiar la relación entre objetivos vitales y actitudes hacia el sexo en un grupo de adolescentes entre 14-19 años de edad, de ambos sexos, residentes de un sector Urbano Marginal del cono Norte de Lima Metropolitana.

Utiliza un diseño factorial de análisis de varianza, completamente aleatorizado con dos factores, asumiendo hipotéticamente la existencia de diferencias significativas entre el valor de las actitudes hacia el sexo, las respuestas a un objetivo y el sexo de los adolescentes.

INSM-035-85.- "ESTRUCTURA SOCIAL EN LA EXPLICACION DE LAS TAEAS DE MORBILIDAD Y MORTALIDAD"

Autor: A. MONTOYA DE LA CADENA.

Trata de estimar las relaciones asociativas existentes entre las variables socio-

económicas y de salud. Las unidades de investigación corresponden a los 25 departamentos del Perú y la provincia constitucional del Callao.

INSM-036-86.- "ESTUDIO PILOTO SOBRE LA VALIDEZ DE LA PRUEBA DE DISEÑO DE CUBOS"

Autores: H. SAITO; T. SATO Y R. CASTRO

Se aplicará la prueba de WISC v KOHS a 56 jóvenes entre los 6 v 18 años de edad, de ambos sexos, de un centro educativo de un distrito urbano marginal del cono Norte de Lima.

Se utilizará el coeficiente de Correlación intraclase a los resultados de ambas pruebas a fin de determinar la validez de cada una de ellas.

INSM-037-86.- "VALIDEZ Y CONFIABILIDAD DE LA INFORMACION CLINICA REGISTRADA EN LAS HISTORIAS CLINICAS DE SALUD MENTAL COMUNITARIA DEL INSM "HD-HN"

Autores P. ALVARADO; L. APARICIO; B. ARAKAKI;  
M. MENDOZA Y R. URIBE

Intenta evaluar la calidad de la información consignada en las historias clínicas por las enfermeras del programa de Salud Mental Comunitaria.

Los resultados permitirán establecer la calidad del registro y precisar las deficiencias con el propósito de optimizar el procedimiento incidiendo en el adiestramiento de estas profesionales.

INSM-038-86.- "VALOR CLINICO DE LAS QUEJAS PRINCIPALES EN LA PRIMERA CONSULTA.

Autores: A. PERALES Y C. SOGI.

Se revisará la sección de razones para la eficacia y evaluación del formato de evaluación inicial de 265 historias clínicas seleccionadas aleatoriamente de pacientes adultos admitidos al INSM.

Asimismo, datos demográficos y diagnósticos para el análisis descriptivo y de correlación de variables.

A través de ello se intenta generar técnicas sencillas de evaluación de que la queja principal sintetiza lo que aparentemente urge al enfermo a la búsqueda de atención profesional, y su real significado no ha sido estudiado sistemáticamente en nuestro país.

INSM-039-86.- "ESTUDIO COMPARATIVO DE RELACION MADRE-HIJO EN POBLACION URBANA-MARGINAL DE LIMA"

Autores: A. PERALES; K. TEJADA; M. VILLANUEVA Y S. HAYASHI.

Utilizando la misma metodología empleada en anterior investigación sobre la Relación Madre-Hijo se estudian 100 menores de 10 a 15 años y de ambos sexos con sus respectivas madres. El objetivo es comparar los resultados con los del estudio anterior a fin de precisar los niveles de validez externa. Los instrumentos serán: la ficha socio-económica del Instituto de Salud Mental y el cuestionario Madre-Hijo.

INSM-040-86.- "ESTUDIO DE CONFIABILIDAD Y VALIDEZ DE LA BPRS"

Autor: JOSE VALVERDE

Para evaluar la confiabilidad y validez de la Escala de Evaluación Psiquiátrica Breve (BPRS) se tomará una muestra de 50 pacientes hospitalizados del INSM "HD-HN", mayores de 18 años, de ambos sexos, y de diagnósticos de trastorno esquizofrénicos, esquizofreniforme y psicosis reactiva breve, de acuerdo a los criterios del DSM-III.

Se utilizará el diseño Test-retest para la prueba de confiabilidad y se aplicará la correlación producto-momento y el coeficiente K; la evaluación de la validez se hará a través del análisis de varianza.

INSM-041-86.- "ESTUDIO DEL ACOMPAÑANTE A LA CONSULTA EXTERNA PSIQUIATRICA"

Autores: A. PERALES; C. SOGI; C. ALVARADO M.

## VIA Y M. CABRA.

Intenta describir las características demográficas, psicosociales a nivel de Salud Mental y grado de relación, en cuanto a soporte social, del acompañante del paciente psiquiátrico que demanda consulta ambulatoria. Utilizando el enfoque conceptual de la teoría de sistemas, se estimarán las potencialidades clínicas y de manejo terapéutico pertinentes.

## INSM-042-86.- "EL SCID-II INSTRUMENTO CLINICO PARA TRASTORNO DE PERSONALIDAD"

Autores: C. SOGI; R. LEON Y D. WARTHON.

El SCID-II, de reciente aparición acorde con el DSM-III-R podría ser un instrumento potencialmente útil para la categorización de los trastornos de personalidad en psiquiatría clínica.

El presente proyecto, en una secuencia ordinaria de sub-proyecto, intentará al español, establecer un procedimiento secuencial, que de probar su utilización, permitiría la adaptación de otros instrumentos clínicos foráneos.

## inSM-043-87.- "COMPARACION DE DIAGNOSTICO DSM-III EN EL NORTE Y SUD-AMERICA"

Autores: C. SOGI; D. WARTHON; J. MEZZICH; J. VALVERDE Y A. SAAVEDRA

Se realizará a través del análisis de los hábitos clínicos en el ejercicio diagnóstico, en número de diagnósticos por paciente, uso de categorías específicas con trastornos esquizoafectivo, ansiedad generalizada, pánico, factores psicológicos que afectan la condición física, psicósomáticos (Diagnósticos en eje I y III) conducta alimentaria, del ajuste, personalidad y otros de interés para la nosología internacional en una muestra de 387 historias clínicas seleccionadas aleatoriamente en el INSM, y la otra correspondiente al the Western Psychiatric

institute an clinic de Pittsburgh.

INSM-044-87.- "CONFIABILIDAD DE LAS ESCALAS PARA PACIENTES PSICOTICOS CRONICOS DE KRAWIECKA Y NIVEL DE FUNCIONAMIENTO DE STRAUSS Y CAPTENTER"

Autores: C. SOGI Y M. MENDOZA.

Se establecerá utilizando el coeficiente de correlación intraclase entre el par de evaluadores y la totalidad de los participantes en la prueba de confiabilidad.

El estudio se inicia con la traducción de las escalas a cargo de un panel de psiquiatras bilingües. Previamente a su aplicación se preparara el material didáctico videograbado.

El diseño de confiabilidad observador y la muestra estará conformada por 30 pacientes psicóticos crónicos del INSM 30 del Programa de Salud Mental Comunitaria.

INSM-045-87.- "USO DEL ESTAZOLAM EN ALUCINACIONES PERSISTENTES"

Autor: JAVIER SAAVEDRA.

En una muestra de 30 pacientes con diagnóstico de esquizofrenia subcrónica o crónica con alucinaciones auditivas persistentes a pesar de medicación adecuada, se agrega, aleatoriamente en dos grupos estazolam, en dosis de 8-8 mg/día o prometazina 150 mg/ día como placebo activo: se evaluarán las alucinaciones auditivas en un periodo de 4 semanas con esta medicación. La comparación del grupo control placebo con el que recibe la sustancia activa estazolam, permitirá algunos alcances sobre el efecto de ésta en las alucinaciones auditivas persistentes de pacientes esquizofrénicos subcrónicos y crónicos.

INSM-046-87.- "EFICACIA-SEGURIDAD Y TOLERANCIA DEL HALOPERIDOL EN NEUROLEPTIZACION RAPIDA EN PACIENTES PSICOTICOS CON AGITACION PSICOMOTRIZ"

Autores: J. GUARNIZ; R. LOZANO Y J. VALVERDE